

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	中心市街地の防災性の向上（防災・安全）		
計画の期間	平成30年度～平成31年度	交付対象	熊本市
計画の目標			

昭和44年の旧耐震基準で建設された複合施設を再開発事業の手法によって建て替え、中心市街地の防災性の向上を図ることはもとより、当該施設において、大規模災害時に発生が想定される帰宅困難者等の受入機能を整備し、安心で魅力ある都市空間を創出する。

計画の成果目標（定量的指標）			
・再開発施設の完成により、災害時に受け入れ可能となる一時帰宅困難者等の受入人数を比較する。	H30年度当初：0人⇒H31年度末目標：11,000人		

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H31末)	
① 再開発施設の完成により、災害時に受け入れ可能となる一時帰宅困難者等の受入人数を比較する。	0人		11,000人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	5,375百万円	A	5,375百万円	B	百万円	C	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	-----	---	-----	---------------------------	------

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
熊本市公共事業評価監視委員会による審議	令和4年1月
	公表の方法
	熊本市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H30	H31	R02	R03	R04		
A16-001	住宅	一般	熊本市	間接	熊本桜町再開発株式会社			桜町地区市街地再開発事業	市街地再開発事業 約3.7ha	熊本市						5,375.0	
合計															5,375		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	R02	R03	R04				
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	R02	R03	R04				
合計															0.0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	令和元年9月のバスターミナルオープン皮切りに、同年11月までに商業施設やホテル、展示ホール等を順次オープンした。中心市街地の新たな賑わいを創出するとともに、災害時の一時帰宅困難者を受け入れるスペースの確保等を行い、地区の防災性を向上させている。			
--------------------------------	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①	最終目標値	11,000人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	11,000人		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標③	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
--	--	--	--	--

3. 特記事項 (今後の方針等)

--	--	--	--	--